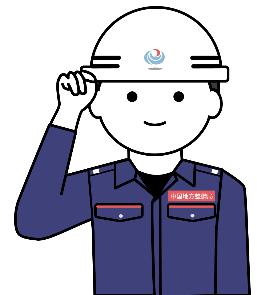


令和6年度総社一宮バイパス今岡地区第1舗装工事 現場技術者インタビュー ～インフラを支える「現場技術者」に迫る～

岡山国道事務所が発注する工事現場で活躍する現場技術者に、
仕事の魅力や思いを聞きました！
道路を守り、未来を支える人の声を定期的にご紹介します！



Q1. まずは自己紹介をお願いします。

松尾建設株式会社の馬渡(まわたり)祐丞と申します。現在、総社一宮バイパスの今岡地区において舗装工事の監理技術者を務めています。工事全体の工程管理や安全管理、発注者との調整を担当しています。



Q2. 今回担当している工事について教えてください。

この工事は、吉備スマートインターチェンジへ国道から直接アクセスできるようにすることにより、生活道路の交通量を少なくし、安全性の向上が期待できます。また、大型車がスムーズに高速道路にアクセスでき、企業活動・物流の効率化と地域の雇用確保に寄与できるものだと思います。災害等にも迅速に対応できるようになります。



Q3. 工事を進める上で工夫していることはありますか？

この工事は、複数の業者が開通に向けて施工を行っています。作業箇所の調整を行い、早期に施工を完了できるよう工夫しています。また、ICT建機を活用し、効率的に施工し本質の向上に努めています。

Q4. 監理技術者としてのやりがいは何ですか？

協力業者と共に工事を進めていき、完成した時の達成感が一番のやりがいになります。

そして、完成した道路を安全に安心して利用されている姿を見ると、「社会の役に立っている」と実感できます。

Q5. 印象に残っているエピソードは？

この工事に地元の小学校の児童を招待し、重機乗車体験や舗装体験、橋梁上ヘメッセージを描くイベントを実施したことです。準備は、大変でしたが、児童と先生方に喜んでいただけたことが一番印象に残っています。

Q6. 今後の目標や若い人へのメッセージをお願いします。

今後は、さらに新しい施工技術が増え、より安全で効率的な現場運営ができるように積極的に取り入れていきたいです。建設業は大変なことが多いですが、完成した時の喜びも格別です。ぜひ若い世代の皆さんにもチャレンジしてほしいです。



取材：計画課S

馬渡(まわたり)さん



現場体験イベント（R7.10）



現場体験イベント（R7.10）



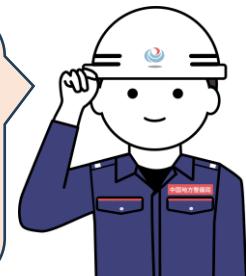
 松尾建設株式会社

岡山国道事務所は今後も受注企業と連携しながら
道路整備を進めていき、岡山の道の未来を支えていきます！
次のインタビューもお楽しみに！

インタビューのご協力ありがとうございました！

私も馬渡(まわたり)さんと一緒に、地元の小学生を対象にしたイベントに参加させていただき、子ども達が非常に楽しんでいたり、「完成後に車で通ってみたい！」など好評だったのが記憶に残っています。建設業は、すごく達成感をもてる仕事なので多くの方に興味を持っていただければと思います。

次回に続く・・・



作成：計画課 I・S